



「自覚」「決断」「自律」「準備」の年を迎えて

2022 年が始まりました。2 年生にとって 3 学期は「3 年生の 0 学期」といわれ、3 年生につながる大切な学期です。登校日数は少ないですが、体調管理を徹底し 1 日 1 日を充実した日々にししましょう。

さて、今年は「壬寅（みずのえ・とら）」年です。「寅」という文字は、弓矢を両手で引き絞る形を表した象形文字です。つまり、矢が放たれる**準備**を示しています。また「寅」は**決断**力と才知(物事を正しく見て、何をすべきかをよく心得ていること、いつもベストな行動ができること)の象徴とも言われます。つまり、今年は厳冬に堪え、春の芽吹きが大きく花開く(進路目標の達成)のために地道に自分磨き、実力を養う**準備**の年といえるでしょう。

一昨年来校した山崎育三郎さんは寅年です。1 月 1 日付日経 MJ 新聞のインタビューで「何も考えずとにかく与えられたチャンスに必死に食らいついてきた感じです。今まで出会ったことの無いような人や世界に触れ、毎日ワクワクしています。これまでとは違う自分を発見できるなど、まだまだ可能性は自分で決めつけてはいけないと感じています」と答えていました。皆さんも 2 年生の学習、行事、部活動などでこれまでとは違う自分を発見できたのではないのでしょうか？続いて、インタビューでは「今振り返ると 10 代は本当に苦しかった。声変わりもあって、なかなか思うようにオーディションに受からず、思春期の多感な時期に親の離婚や祖父母の介護(ヤングケアラー：詳しくは、家庭総合で配付した資料を参照)など家庭の事情も重なりました。生きていてあれよりつらいことは無いって今でも思います。ただ、あの時ひたすらに技術を磨き続けた時間が今の自分を築いてくれたと思っています」。現在は、「どのお仕事でも自分の姿勢は変わらず、とにかく人に喜んでもらうことが一番。その時、その時、どうすれば喜んでもらえるのかを考えてベストを尽くすだけです」と仕事に対する姿勢を答えていました。

高校 3 年間(19 歳まで)は人間の脳の構造として、新しいことを学ぶことが楽しい、勉強する習慣や学習意欲がピークになる年代です。私たちはなぜ勉強する(学ぶ)のでしょうか？勉強することは「選択肢を増やすこと」につながります。「学んだ人は選べる、学ばなかった人は選べない」、学ぶたびに人生の選択肢がひとつずつ増えていきます。選択肢が多い方が圧倒的に人生は楽しくなるでしょう。だからみなさんは今こそ好奇心、学習意欲、学習習慣を身につけなければなりません。現代は変化のスピードが速く、あたりまえのことがあたりまえでは無くなる時代です。そのような時代では変化するものだけが生き残ります。変化するためにも何歳になっても学ぶことは重要です。

2 年生にとって 2022 年の大きな変化は「18 歳成年」です。皆さんは、18 歳になった瞬間に未成年から成年になります。何かあったら親が子どもの代わりに責任をとってくれた未成年から自分で責任をとる成年になります。まだまだ子どもと思っている人も多いでしょう。しかし、確実に月日は過ぎ大人として扱われる年齢になります。大人とは、自分の意思で主体的に判断(選択、決定、**決断**)して社会に参加していく人です。そのための**準備**

をして、大人としての**自覚**を持てる人になりたいものです。未成年最後で、高校最高学年の年を迎え、自分はどう生きるのか、どのような人でありたいのか、そのために今の自分はどこまでできているのか、目標達成のために今すべきことは何か、何のためにするのかを自分の頭で考え行動しましょう。例えば同じ煉瓦を積んでいる3人の職人にある人が何をしているのかと尋ねたとしましょう。1人目は「ただ煉瓦を積んでいるだけ」2人目は「壁を立てている」3人目は「大聖堂を築いている」。同じ煉瓦を積むという行為ですが、ただの作業ととらえるのか、大聖堂を建てるという大きな目標を視野に作業するかで仕事に対する意識が変わります。今自分がしている学習や練習、行動は何を目的、目標としているのかを見失わずに取り組むことが大切です。今いる環境を訓練の場だと見なして、視野を広く持ち、仲間との協力や自分が周りのためにできることを行いましょう。

年末年始には多くの積雪がありました。校門付近の雪かきを自主的に行ってくれた多くの2年生、ワックスがけに向けて廊下磨きを積極的にしてくれた2年生、廊下に出した机やイスを教室にきれいに並べてくれた2年生など冬休み中だけでも多くの人が自主的に気持ちよく行動をしてくれました。その他校内外でも自分で考えて行動した2年生がいたことと思います。人を助けることは自分を助けることです。勉強に加えて人のために自分ができるところを行動に移せる人間力を身につけてほしいと思います。

長所と短所は誰にでもあります。弱点の無い人間はいません。しかし、考え方、行動によっては、自分の最大の欠点が最大の武器や魅力になります。インターネットで多くの知識を得ることができる現代は、考える力が重要です。考える力をつけるには、様々な人や場面に出会い、様々な人の考え方や発想のパターンを学ぶことです。With コロナの今、多くの人とのリアルな交流には制限があります。そんなときでも本を読むことはできます。多くの本から様々な考えにふれ、考える力を高めましょう。

2022年を最高学年であり成年となる**自覚**を持ち、自分の将来の生き方と進路目標を**決断**し、自分自身をコントロール(**自律**)して成長し、最後まで駆け抜けることができるよう**準備**の年にしましょう。「これまで何をしてきたのか、今やっていることは何か、これから何をしたいのか」を答えられるよう、これまで以上に真剣さと粘り強さをもって、どのような自分でありたいのかを考えベストな行動する毎日を送りましょう。そして、将来の自分に褒められるよう実りある1年にしましょう。2023年3月1日には福商から笑顔で巣立つというゴールをめざしてともにがんばりましょう。

2022年箱根駅伝総合優勝 青山学院大学の主将と監督のことばより

昨年優勝を逃し挫折した青学大が総合優勝し復活を果たした。昨年の敗因について原監督は「チームの精神的支柱であるエースの主将が大会直前にけがで離脱した。支えが無くなったときに挽回するだけの体力、精神力がチームに無かった」と語った。この反省をもとに今年の主将は、「何があっても崩れないチームを目指した。自分たちの力を発揮できれば、圧倒できる」と語った。監督も「誰かに頼るのではなく、みんなが強くなろうと強化した」、「一人ひとりが自分に足りないものや課題、目標を考えて行動する。自律して前に進むという姿勢が青山学院にはできあがった」と記録、成績だけで無い青学大の強みである選手の取り組む姿勢をたたえた。ここから私たちが学ぶことは多い。